



日本台湾学会 第11回学術大会プログラム



日時： 2009年6月6日（土曜日） 10時～
場所： 日本大学文理学部
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
後援： 財団法人交流協会
参加費： 2000円

スケジュール

受付開始：	9:30～	(3号館5階ラウンジ)
分科会（午前の部）：	10:00～11:50	(3号館5階)
昼休み：	11:50～13:00	
分科会（午後の部）：	13:00～14:50	(3号館5階)
学会企画シンポジウム：	15:10～17:10	(図書館3階オーバル・ホール)
会員総会：	17:20～17:50	(図書館3階オーバル・ホール)
懇親会：	18:00～20:00	(3号館1階カフェテリア「コスモス」)

《学会企画シンポジウム》

「台湾原住民族にとっての霧社事件」

日時： 6月6日（土） 15:10～17:10
場所： 図書館3階オーバル・ホール

パネルディスカッション

司会： 駒込 武（京都大学）、垂水 千恵（横浜国立大学）

パネリスト：

Takun Walis（邱建堂）（南投県仁愛郷公所民政課長）
呉 密察（成功大学） *発表中国語、日本語論文あり
北村 嘉恵（北海道大学）

コメンテーター：

下村 作次郎（天理大学）
春山 明哲（早稲田大学）

《分科会報告》

◇第1分科会

「植民地文学生成のメカニズム—ヴォイス・メディア・帝国大学・植民地都市」

10:00-11:50、13:00-14:50（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者： 陳 培豊（台湾中央研究院）

座長： 河原 功（成蹊高校）

（午前）

報告者：

陳 培豊 「作られた台湾の『伝統』民謡—音声テキストから見た二度の郷土文学運動」

柳 書琴 「植民地都市、文芸生成、ローカル知識：1930年代の台北とハルピン」
（清華大学） *発表中国語、日本語レジュメあり

コメンテーター：

張 隆志（台湾中央研究院）、橋本 雄一（千葉大学）

（午後）

報告者：

張 文薫 「アカデミーの文化参入—台北帝国大学と40年代台湾文壇・文学の成立」
（台湾大学）

楊 智景 「戦時下日本人作家の植民地旅行と台湾表象の生成」
（中正大学）

コメンテーター：

藤沢 太郎（桜美林大学）、西 成彦（立命館大学）

◇第2分科会

「台湾文学と文化の越境」

10:00-11:50 (午前、1セッション企画)

企画責任者： 白水 紀子 (横浜国立大学)

座長： 白水 紀子

報告者：

邱 貴芬 (中興大学) 「可視化/不可視化される原住民族女性：シャマン・ラポガンの創作にみるジェンダー・ポリティクス」 *発表中国語、日本語レジュメあり

詹 閔旭 (成功大学大学院) 「白先勇の各時期における『中国翻訳』の策略」 *発表中国語、日本語レジュメあり

コメンテーター (担当順)：

下村 作次郎 (天理大学)、三木 直大 (広島大学)

◇第3分科会

「台湾で〈作家〉を目指すということ

—日本統治期・国民党戒厳令期の二つの『抑圧』下における青年たちの欲望」

13:00-14:50 (午後、1セッション企画)

企画責任者： 赤松 美和子 (横浜国立大学)、和泉 司 (慶應義塾大学)

座長： 赤松 美和子

報告者：

和泉 司 「文学懸賞を目指す植民地の〈作家〉志望者—日本帝国の〈文壇〉を巡って」

赤松 美和子 「戒厳令期における『作家』を志望する青年たち—二大新聞の文学賞を中心に」

コメンテーター：

紅野 謙介 (日本大学)

◇第4分科会

「台湾・韓国産業発展比較」

10:00-11:50 (午前、1セッション企画)

企画責任者： 佐藤 幸人 (アジア経済研究所)

座長： 佐藤 幸人

報告者：

赤羽 淳 (三菱総合研究所) 「台湾TFT-LCD産業の発展過程における資金調達—友達光電の事例を通じて」

吉岡 英美 (熊本大学) 「韓国半導体産業の『財閥』的發展過程—サムスン電子の事例」

コメンテーター (担当順)：

山田 周平 (日本経済新聞社)、佐藤 幸人

◇第5分科会

「自由論題報告Ⅰ」

13：00－14：50（午後、1セッション企画）

座長： 三尾 裕子（東京外国語大学）

報告者：

陳 黎明 「台湾人の日本観光と旅行代理店の商品生産についての人類学的考察」
（東京大学大学院）

田上 智宜 「新移民の出現と台湾族群論の再編」

（日本学術振興会
特別研究員）

コメンテーター（担当順）：

上水流 久彦（県立広島大学）、五十嵐 真子（神戸学院大学）

◇第6分科会

「自由論題報告Ⅱ」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長： 岡崎 郁子（吉備国際大学）

報告者：

許 菁娟 「1980年代初期における台湾郷土文学の発展
（成功大学） —黄春明の作品の映画化現象からの考察」

倉本 知明 「国『本』合作としての戦後台湾
（立命館大学大学院） —邱永漢『長すぎた戦争』における老兵表象を中心に」

院）

コメンテーター（担当順）：

菅原 慶乃（関西大学）、丸川 哲史（明治大学）

◇第7分科会

「自由論題報告Ⅲ」

13：00－14：50（午後、1セッション企画）

座長： 星名 宏修（琉球大学）

報告者：

謝 惠貞 「『フォルモサ』同人から出発した巫永福の異質性
（東京大学大学院） —横光利一経由の意識の流れの受容をめぐって」

嶋田 聡 「黄得時試論—植民地期台湾における『地方文化』概念の確立に至る
（愛知大学大学院） 道」

コメンテーター（担当順）：

川口 隆行（広島大学）、橋本 恭子（一橋大学大学院）

◇第8分科会

「自由論題報告Ⅳ」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長： 松田 京子（南山大学）
報告者：
下岡 友加 「雑誌『台湾愛国婦人』の基本的性格」
（県立広島大学）
紀 旭峰 「安部磯雄と近代台湾—大正期と昭和期の台湾訪問を手がかりに」
（早稲田大学大学
院）
コメンテーター（担当順）：
洪 郁如（一橋大学）、梅森 直之（早稲田大学）

◇第9分科会

「自由論題報告Ⅴ」

13：00—14：50（午後、1セッション企画）

座長： 松田 康博（東京大学）

報告者：

井上 正也 「佐藤政権の対台湾政策
（神戸大学） —『反共外交』と『経済開発』の葛藤、1964-1972年」

中西 美貴 「統治の浸透性の不均衡さがもたらすもの
（京都大学大学院） —台湾先住民の植民統治経験から」

コメンテーター（担当順）：

前田 直樹（広島大学）、笠原 政治（国立民族学博物館）

《お問い合わせ》

日本大学文理学部中国語中国語文化学科 山口 守

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

電話 03-5317-9708 FAX 03-5317-9261

E-mail: taiwan0606@gmail.com

[このページの先頭へ](#)